

令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第12号 (3月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和6年2月22日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	少ない

○3月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
(温 州 み か ん)	①	そうか病	やや多	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	②	ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
(タ カ ン カ ミ ン)	①	かいよう病	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
	②	ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
マ ン ゴ ー	①	ハダニ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移 (→)
キ ャ ベ ツ	①	チョウ目幼虫	多	→	多	平年の発生量の推移 (→)
レ タ ス	①	アザミウマ類	多	↗	多	例年の発生量の推移 (↗)
	②	ハスモンヨトウ	やや多	→	やや多	例年の発生量の推移 (→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○3月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
か ぼ ち ゃ	①	うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	斑点・褐斑細菌病	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	③	アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④	ハモグリバエ類	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
さ （ 平 い 張 ） ん げ ん	①	タバココナジラミ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
	②	ハモグリバエ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
（ ニ 施 ガ 設 ウ ） リ	①	うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	斑点病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③	ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④	タバココナジラミ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
（ ピ 施 設 ） マ ン	①	うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	②	ミナミキイロアザミウマ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	③	ヒラズハナアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④	タバココナジラミ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	⑤	アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○3月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
(施設)	① 黄化葉巻病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	③ 葉かび・すすかび病	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
	④ タバココナジラミ	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	⑤ ハモグリバエ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移 (→)

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	カンシャワタアブラムシ	沖縄本島中部地区の一部ほ場で発生が確認された。大発生するとすす病を併発し生育を阻害する。新植夏植えほ場への定着は春季の大発生の原因になるため、葉裏を良く確認して乳剤散布などで初期防除を徹底する。
(温州みかん)	かいよう病	樹上の葉、枝などの病斑が伝染源になるため、発病葉・枝を除去する。またミカンハモグリガの食害痕から侵入し発病することから、ハモグリガ防除は重要である。
	カイガラムシ類	一部のほ場でカイガラムシ類の発生が見られた。気温が上昇する時期に多発させないために、早期発見・防除に努める。
(タカンカシ)	黒点病	樹上の葉、枝などの病斑が伝染源になるため、発病葉・枝を除去する。また3月は発芽期、開花期であることから予防散布を徹底する。
	サビダニ類	発芽期に発生が見られるが、肉眼では発見しにくいので、昨年被害果が見られたほ場では、予防的に薬剤を散布する。
マンゴー	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは伝染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	一部施設でコナカイガラムシ類の発生がみられた。甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探すことで発見しやすくなる。カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。
レタス	アブラムシ類	有翅虫(種未同定)が多数認められたので、今後の本虫の増加に注意する。本虫はウイルス病を媒介する場合がありますので、登録農薬の散布や植え替え時には粒剤を施用する等して防除に努める。
小ギク	Gibellulopsis chrysanthemiiによる新病害	昨年度発生(年末用小ギク)した新病害である。本病は葉にえそ斑紋のような症状を呈し、症状が進行すると下葉が枯れ上がり商品価値を著しく低下させる。今月の調査での発生ほ場率は44.4%であった。防除対策としては健全苗を植え付ける。かん水の時に土が跳ね上がらないように注意する。罹病葉は伝染源となるので速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。

令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第12号（3月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和6年2月22日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	少ない

○3月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
かぼちゃ	① 斑点・褐斑細菌病	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② アブラムシ類	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘）
	③ ハモグリバエ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
さいがいんげん	① ハモグリバエ類	やや多	→	やや多	例年の発生量の推移（→）
（二）施設ウリ	① うどんこ病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
	② 斑点病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ タバココナジラミ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	④ アブラムシ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
（体）栽培立	① ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	例年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとらきび	カンシャワタアブラムシ	宮古島及び伊良部島の一部ほ場で発生が確認された。大発生するとすす病を併発し生育を阻害する。新植夏植ほ場への定着は春季の大発生の原因になるため、葉裏をよく確認して乳剤散布などで初期防除を徹底する。
マンガ	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは伝染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探することで発見しやすくなる。カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。

令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第12号（3月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和6年2月22日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	少ない

○3月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		2月の発生量 (平年比)	2月からの 増減	3月の発生量 (平年比)	
（1） 水稲	① スクミリングガイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>				
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>				
かぼちゃ	① アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	② ハモグリバエ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（2） 施設ウリ	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② 斑点病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ タバココナジラミ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。
 ●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
 ●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値
 ※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。
 ※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは伝染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探することで発見しやすくなる。カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。

向こう1か月の天候の見通し 沖縄地方（02/24～03/23）

予報のポイント

- 気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の日照時間は少ないでしょう。
- 向こう1か月の降水量はほぼ平年並ですが、期間の前半は低気圧や前線の影響を受けにくいいため、降水量の少ない状態が続く所があるでしょう。
- 向こう1か月の気温はほぼ平年並ですが、期間の前半は寒気の影響を受けやすいため平年並か低く、後半は暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高い見込みです。

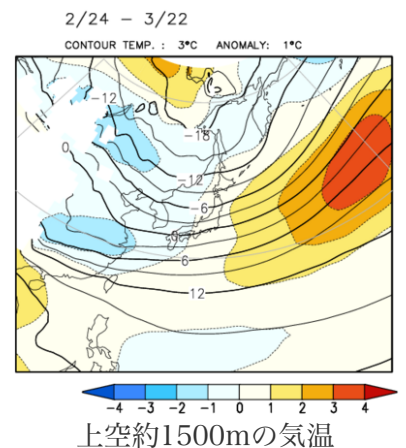
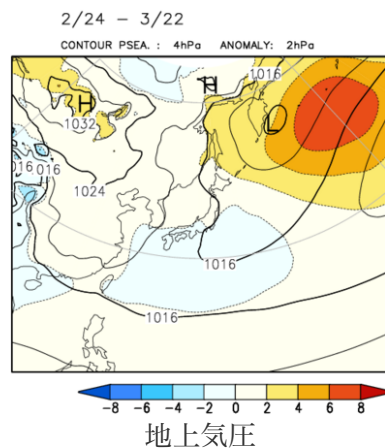
1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低30 並40 高30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p>	<p>降水量（1か月）</p>	<p>日照時間（1か月）</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、沖縄付近では平年より低いと予測され、気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期があるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、九州・沖縄付近では平年より低いと予測され、沖縄地方では寒気の影響を受ける時期がある見込みです。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

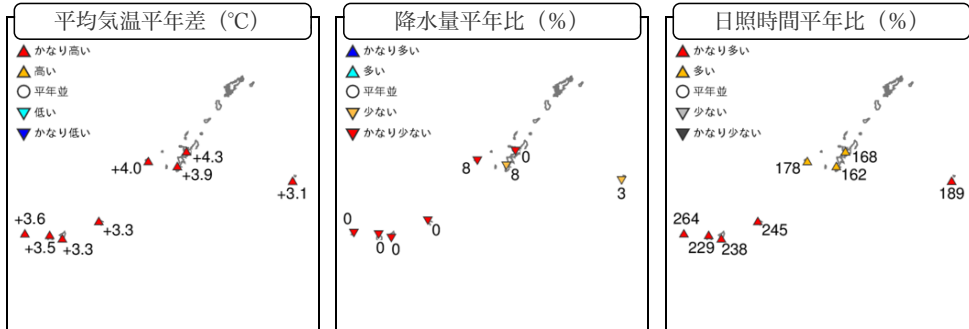
週別の平均気温と天候

	平均気温（1週目） 02/24～03/01	平均気温（2週目） 03/02～03/08	平均気温（3～4週目） 03/09～03/22
週別の天候	気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
沖縄地方	低30 並50 高20% 平年並の見込み	低40 並40 高20% 平年並か低い見込み	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 50 高い確率 (%) L 平年並も40%</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 50 高い確率 (%) L 平年並も40%</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 50 高い確率 (%) L 平年並も40%</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 02/15～02/21	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	+3.7°C (かなり高い)	2% (かなり少ない)	212% (かなり多い)

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20：40：40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40：30：30) (30：40：30) (30：30：40)	ほぼ平年並の見込み
(40：40：20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

